

ブドウ新規就農者の売上向上

東近江農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

愛東ぶどう生産出荷組合のY氏は、令和3年度に約30aの既存ブドウ園を継承され、組合からは、栽培面積拡大意向のある担い手として期待されています。初収穫となった令和4年度は、有色系品種の着色不良やシャインマスカットの果粒肥大不足により秀品率の低下や廃棄が発生したため、売上向上と経営安定を目的に、令和5年度に有色系品種の着色向上対策とシャインマスカットの果粒肥大対策について支援しました。令和6年度は、さらなる着色向上技術実践とシャインマスカットの省力化技術を支援し、売上向上を目指しました。

【普及活動の内容】

(1)有色系品種の着色向上技術支援

Y氏のほ場には着色に光が必要な品種が多く植栽されているため、光反射シートの敷設と透明袋の使用を実施し、着色を促しました。この技術は令和5年度に県でマニュアル化したもので、Y氏自身が手順に沿って実施できるよう支援しました。

(2)シャインマスカットの省力化技術支援

繁忙期の新梢管理を省力化し、摘粒などの作業に労力を割けるよう、「フラスター液剤」の散布を提案し、適期散布を支援しました。これを散布することで副梢管理を省くことができ、品質向上につながります。



写真1 実施技術の打ち合わせ

【普及活動の成果】

有色系品種の着色改善とシャインマスカットの品質向上により、全体の秀品率は73%(昨年度55%)となり、対策の効果を実感されました。特にシャインマスカットについては、副梢管理を省力化した分、丁寧な摘粒作業をすることで品質が大幅に向上し、秀品率は98%となりました。さらに、全体の単収は955kg/10a、面積当たりの売上は207万円/10aとなり、目標を概ね達成することができました。今後は生産性の落ちた老木の改植を進め、さらなる単収・売上向上を支援していきます。

◎対象者の意見

色々な支援をしていただき売上を伸ばすことができ、良い年となった。来年以降もスケジュール管理を徹底し、段取り良く管理できるようにしたい。(生産者Y氏)